

令和2年度(令和元年度) 学校関係者評価議事録

日 時: 令和3年3月24日(水)15時00分～16時00分

場 所: 新潟調理師専門学校

出席者: 佐藤 衛(新潟県調理師会会長)

泉 正広(アッラ・ヴェッキア・ペントラッチャ店長・卒業生)

吉田和弘(新潟調理師専門学校校長)

吉田奈美(新潟調理師専門学校副校長)

鍵富 茂(新潟調理師専門学校教頭・卒業生)

議 題: 1. 重点目標について

2. 令和元年度 教職員自己評価に対する学校関係者評価

1. 重点目標について(令和元年から令和2年への重点改善項目)

①効果的な校外研修について

(令和2年3月研修)

・コロナウイルス拡大により実施できず。代替として校内で訓練授業を行った。

(令和2年7月研修)

・医療機関の受け入れが難しい状況が続き、こども栄養給食コースの生徒は校内研修。

給食現場の方による講話、給食業務を意識した実習などを行った。

・料理、製菓の生徒は現場派遣。通常より長い期間の研修となったが、はじめての実地研修で生徒の成長、意識の変化が見られた。

(令和2年12月研修)

・医療機関は就職内定先のみ派遣。ほかのこども栄養給食コースの生徒は、市内のホテルなどで現場の経験を積む。対外的に研修をするのがはじめての生徒も多かったが、分野違いであっても、言動に変化がみられるなど、いかに現場での研修が重要であるかを思い知る結果となった。

・料理、製菓の生徒は内定先を中心に研修。

(委員からの評価)

(佐藤)

3月の研修は受け入れ先も不安が大きかった。生徒の健康が優先であるので、校内での訓練による実施は適正であった。

7月も給食専攻の生徒が校内研修となってしまったが、現場の調理師を呼んで講話などを行ったのは非常に効果的だったと思う。衛生管理やコミュニケーションを学ぶことができたのではないかな。

12月になってもコロナの拡大は収まらなかったが、内定先で学ぶなど、卒業後の経験となったのでは。

(泉)

コロナはすべての人にとって初めての経験であった。学校、生徒、企業で情報を共有すべきだ。たとえば、飲食店ではテイクアウトを取り入れるところが多かったが、学校の事業でもテイクアウトを行っている。それをあらかじめ共有できていれば、新しい視点の研修ができたかもしれない生徒の学習の様子をお店にも知らせてもらいたい。7月の研修はいつもより長丁場だったが、影響はあったのか？(→続けられない生徒もいた)おそらくそうしたこともあったと思う。お店でのこと、学校でのことを、お互いで共有したい。

2. 教職員による自己評価

教育理念・目的・人材育成像 3. 5

学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3.9
学校における職業教育その他の教育指導等の特色はあるか	3.7
社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.3
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者に周知されているか	3.2
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応するニーズに向けて方向づけられているか	3.4
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.3

(委員からのご意見)

在校生の様子を見ていると、理念は伝わっているのではないかと思う。

学校運営 3. 2

運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	3.0
人事、給与に関する規程等は整備されているか	2.8
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.2
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.8
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.9

(委員からのご意見)

コンプライアンスを遵守した運営と思われる。

教育活動 3.4

教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.2
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.5
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	3.4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.5
関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.6
授業評価の実施・評価体制はあるか	3.6
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.6
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.7
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.6
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.3
関連分野などにおける業界等との連携においてすぐれた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3.2
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.8
職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.6

(委員からのご意見)

全体としては良好であるが、例年、職員の研修に関する数値が低い。研修内容の充実と実行を求める。

学修成果 3.5

就職率の向上が図られているか	3.9
資格取得率の向上が図られているか	3.7
退学率の低減が図られているか	3.1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.6
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.3

(委員からのご意見)

退学率の低減に関する数値が低下している。職員間での危機意識を高める必要があるのでは。

学生支援 3.4

進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0
学生相談に関する体制は整備されているか	3.8
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.6
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.4
課外活動に関する支援体制は整備されているか	3.3
学生の生活環境への支援は行われているか	3.3
保護者と適切に連携しているか	3.4
卒業生への支援体制はあるか	3.5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.1

(委員からのご意見)

概ね良好である。卒業生による講話などを取り入れると、在校生の参考になるだけでなく、卒業生の支援にもつながるのではないかと。

卒業して1～2年の卒業生の授業などが有効ではないかと。教える立場になると、成長につながる。在校中の1年生、2年生の交流があるのも当校の特徴である。大事にしてもらいたい。

教育環境 3.5

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.4
防災に対する体制は整備されているか	3.7

(委員からのご意見)

コロナ禍において、新しい形式の研修が求められるのではないかと。

学生の受入れ募集 3.5

学生募集活動は、適正に行われてるか	3.7
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4
学納金は妥当なものとなっているか	3.7

(委員からのご意見)

適正かつ有効に行われている。

財務 3.3

中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.2
財務について会計監査が適正に行われているか	3.4
財務情報公開の体制整備はできているか	3.2

(委員からのご意見)

これだけ情報が公開されていても、公開の体制整備ができていない、という評価になっているのは、公開されていること自体を知らない教職員が多いのでは。対応が求められる。

法令等の遵守 3.5

法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.7
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.3
自己評価結果を公開しているか	3.7

(委員からのご意見)

自己評価の実施と公開など、良好である

社会貢献・地域貢献 3.2

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.0
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.4

(委員からのご意見)

設問の意味がわかりにくい。学校の実情にあったものにしてもよいでは。

その他

研修やアルバイトに来る生徒を見ていると、「1年目にやること、2年目にやること」がわかっていない生徒が多い。先輩に「就職活動はいつ始まるか？」と聞いている在校生を見ると、もっときめ細かく情報を伝えてもいいと思う。

長年学校を運営している「ブランド」を維持してもらいたい。

そのためにはすべての職員で意識を高めねばならない。

伝統によって、就職先に先輩がいるとことが当校の強みだ。